



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 教育・広報部  
2020年6月7日 No.220

## 夏季手当はJR社員の「生活給」である！

### 2020年度夏季手当の取り組み ④

基本給改定は7期連続で行われたが、生活水準の向上を実感できていない。日々新型コロナウイルス感染症の不安を感じながら業務に従事している社員のモチベーションのためにも満額回答しかない。言葉だけでなく、見える形で現場の努力に報いてほしい！

会社に「住環境制度」のルールを強引に変えられて、ガラガラの社宅をやむなく追い出され、持ち家のローン返済を抱えている。期末手当が生活給となっており、月々の生計費に回しているの、夏季手当を下げられるわけにはいかない！社員の生活のために満額回答を！

ボーナスは生計費の一部となっており、住宅ローンを組んでいる社員には重くのし掛かる事態。これまで、幾度となく困難を乗り越えてきた社員の労に報いるべきである！

住宅ローンが本当に払えるか心配だ。さらに子供が毎日居るので出費も増えている。夏季手当が極端に低いと生活ができない。我が家の生活のほうが「先行き不透明」だ。会社には社員の生活を守る責任がある！

儲かっている時は出し渋り、業績が悪いと下げると言う。家のローンなどを抱えている社員がいることを忘れるな！こんな時こそ満額出すのが人間尊重企業だ！

持ち家と車のローン返済と、学校の休校により食費や感染予防（マスクや消毒液の購入など）の出費も増え、我が家はトリプルパンチである！ボーナスはいつも通り出してもらわないと生活が苦しくなる！

家族は自分のボーナスをあてにしている。両親と同居だが、2人とも高齢のため、まとまったお金は入らないから、自分の稼ぎが生命線になっている。家族に心配されながらも、身を粉にして新型コロナウイルスと戦って仕事も普段以上に全うしているのに、ボーナスが減らされるなんて納得できない！

基本給が安い自分たちにはボーナスは重要だし、妻も新型コロナウイルスの影響でパートができない状況になってしまった。期末手当が年間支出のバランスを整える重要なポイントになっており、特に今はその重要性を増している！